

令和 7 年度第 2 回 区自治協議会会長会議

次 第

日時：令和 8 年 1 月 1 6 日（金）

午後 3 時 0 0 分から

会場：市役所本館 6 階 執行部控室

1 開会

2 議題

(1) 令和 8 年度全体委員研修会について

(2) その他

3 閉会

【資料】

資 料 1：令和 8 年度全体委員研修会企画の方向性について

資 料 2：令和 8 年度全体委員研修会 開催内容（案）について

別 紙 1：避難者支援システムについて

別 紙 2：避難所鍵ボックス設置事例

別 紙 3：各都市の移動歯科診療車

別 紙 4：災害後の申請制度（まとめ）

別 紙 5：魅力発信力向上研修（参考）

令和 8 年度全体委員研修会企画の方向性について（まとめ）

区名	設問 1	設問 2	その他
北区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所受付システム体験 ・新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」の使い方を体験 ・防災士による講演：東日本・熊本・能登など、実際の避難所開設・運営について、時系列でどのように機能が整って行ったのか知りたい。（本音の話を聞きたい…防災士の言いたいことを一方的に聞かされたが、自分で色々判断する情報を聞きたい） ・次次年度は方向性 2 が良いです 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会委員の一体感を醸成するような研修が出来ればいいですね。 ・その意味で、各区事務局が区自治協議会に対してどのように思っているのか発言の機会が有っても面白い…興味があります
東区	講演型	<p>講義は難しいと頭に入ってこない。 建前論より、すぐ実践で使えるようなテーマが良い。 「現代における子どものこころ（考え方）と地域とのつながり」や「子どもと関わる時気を付けた方が良いポイント」など。</p>	
中央区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所受付システム体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災士にも参加をお願いして、地域の自主防災訓練時に実際にシステムを活用できるようになるまでレクチャーしていただけるとありがたいです。
江南区	講演型	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の交通機関、手段のあり方を考える。 ・効果的な魅力発信の方法などの成功例を知りたい。 	
秋葉区	両方可	<p>【体験型】正直なところ、どちらもよいと思います。ただ、1の方向性ならば、より具体的に生活者目線で考え合い、地域に情報をもって帰れるところまでを目的にして実施してはどうかと思っております。</p> <p>【講演型】合同会社コトブレイス 川口義洋氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民連携・公共施設の利活用等、実践例が多く、地域における事業運営に詳しいため。 ・地域コミュニティ協議会が自立的に運営・経営していくための方策について意見交換できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難後の健康維持の視点として、新潟県歯科医師会が所有する災害検診車の活用も検討していただきたい。 ・災害前の備えとして、具体的な備品、避難経路を自分たちの生活状況・地理的な条件から考えられるとよい。（一昨年の元旦の地震後に、乳幼児の保護者が最低限何を備えておけばよいのか、乳幼児を抱えながら持ち出すものはなにか、どこから逃げたらよいか心配になっていた） ・災害後の申請制度についても情報提供があるとよいのではないか。（西区、西蒲区で大きかった住宅被害等の後の手続きで困っている方がいたため。）
南区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーラーの仕組み、処理能力等知りたいです。 ・避難所受付けシステムも興味あります。 	
西区	講演型	<p>去る11月26日（水）、黒崎市民会館ホールで「新潟市西区と大河津分水」と題して講演会があり素晴らしいお話でした。講師は、信濃川大河津資料館コーディネーターの樋口勲様でした。「地域がつながる（あるいは地域はつながっている）」という意味で、新潟市の自治協全体での講演を希望します（大河津分水に関して）</p>	<p>あと 2 年程で、新潟市が「政令市」となって 20 年となります。他の政令市を含めて、新潟市がどのような位置づけなのか、新潟市としての役割などを知りたいと思っています。また、他政令市で「自治協」はどのような役割を担っているのでしょうか？可能な範囲で教えていただければ幸いです。</p>
西蒲区	体験型		<p>体験型はよいと思います。起震車がこられるといいですね。</p>

令和 8 年度全体委員研修会 開催内容（案）について

【方向性 1】防災をテーマにした体験・実践型

構成例：体験 1 2 0 分（4 メニュー程度）＋全体共有 1 5 分
 ⇒休憩・移動含め 全体 2 時間 3 0 分程度

- 防災は、すべての委員に関係がありとっつきやすい。
- 最新の防災訓練メニューを各委員が地域や所属団体に持ち帰ることで、地域の防災訓練がブラッシュアップされることが期待できる。
- 地域教育コーディネーターを通じて、子どもたちも参加できるとなお効果的（平日午後なので授業との調整が必要）

<p>【体験案 1】起震車（地震体験車）による地震体験</p>	
 <p>(新潟県ホームページより)</p>	<p>○防災知識を体験を通して普及することを目的として、実際に起こった地震の揺れを体験することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 震度 2 ～ 7 が体験可能。 ▪ 小学生以上、4 名まで体験可能。 ▪ 雨天時は利用不可。 ▪ 県に 1 台しかなく、2 月に抽選。
<p>【体験案 2】新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」</p>	
 <p>(新潟県ホームページより)</p>	<p>○県内全域の洪水・土砂災害・津波などのハザードマップを閲覧する機能を有するアプリ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 河川の水位グラフや観測データの確認、河川カメラでの状況確認ができる。 ▪ 土砂災害危険度情報の確認ができる。 ▪ 使い方についての動画あり。 ▪ アプリのダウンロードが必要となる。

<p>【体験案 3】 トイレトレーラー体験</p>	
 <p>(中央区役所だより 令和 6 年 6 月 2 日第 412 号より)</p>	<p>○バリアフリートイレを含む 3 室の水洗トイレを完備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内では中央区が導入。 ・令和 6 年夏ごろから活用を開始。 ・太陽光パネルがあり、停電時でも照明の使用が可能。
<p>【体験案 4】 避難所物資設置体験</p>	
 <p>株式会社光永 HP より作成 (https://www.koei-co.co.jp/bed)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド、トイレ、投光器などを実際に組み立てて使用してみる。 (写真は段ボールベッド)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県が開発中の避難者支援システムの体験 (別紙 1 参照) ・避難所鍵ボックスの開錠体験 (別紙 2 参照) ・災害時にも稼働できる移動歯科診療車の紹介 (別紙 3 参照) ・災害時の支援制度についての紹介 (別紙 4 参照) 	

参考 URL

起震車：新潟県 HP (<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bosaikikaku/1202058051210.html>)

新潟県防災ナビ：新潟県 HP (<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaisaku/1356921834049.html>)

【方向性2】講演＋意見交換（ワークショップ）

構成例

- ・講演60分
- ・ワークショップ100分
（テーマを決めて意見交換・5部屋25グループ想定）
- ・全体共有25分
⇒移動・休憩含め 全体3時間30分程度

○研修会実施後のアンケート結果で「講演」は一定のニーズがあるが、令和5年度以降実施していない。

（R6 全体委員研修3位、R7 新任委員研修1位、R7 全体委員研修2位）

○専門家の講演により、各委員の協働意識の向上が見込まれる。

○ワークショップのファシリテーターを専門家に依頼することも可能。

<講演候補者（案）>

○合同会社コトプレイス 川口義洋 氏



引用：<https://cotoplace.com/company>

- ・岡山県出身、一級建築士
- ・建築専門職として津山市役所で16年間業務に携わる
- ・2025年津山市役所を退職、合同会社コトプレイスを設立
- ・公共施設マネジメントに関する業務や、公民連携事業等に関するコンサル業務などを行う

- ・公民連携・公共施設の利活用等、実践例が多く、地域における事業運営に詳しいため。（秋葉区）
- ・地域コミュニティ協議会が自立的に運営、経営していくための方策について意見交換できるとよい。（秋葉区）

○信濃川大河津資料館コーディネーター 樋口勲 氏

新潟市西区と大河津分水

知られるべき水害対策の要

今こそ聞きたい

信濃川大河津資料館コーディネーター
樋口 勲 氏

日時 11.26/水 11:15~12:15

会場 新潟市民会館ホール

講演内容

- 大河津分水のあゆみ
- 西市民の暮らしを支える大河津分水の役割
- 令和の大改修

問い合わせ 西區役所 地域課 地域連携担当
☎025-264-7160 メール chiki.w@city.niigata.lg.jp

講演会「新潟市西区と大河津分水」チラシ

- ・平成13年から信濃川大河津資料館のガイドに関わる
- ・水辺の生きもの観察会や川下り体験などのイベントの企画運営を手がける
- ・そのほかにも川巡りツアーのガイド、川の講演会の講師などを行う

・「地域がつながる（あるいは地域はつながっている）」という意味で、新潟市の自治協全体での講演をしてもらいたい。（西区）

○特定非営利活動法人みらいず works



引用：<https://miraisworks.com/>

代表理事 小見まいこ

- ・まちづくりパートナーシップ事業で子ども意見表明ファシリテーター養成講座などを開催。
→子どもや若者の意見を聞き、寄り添い、意見を引き出すファシリテーションのスキルや、子どもの参画を促すプログラム作りを学べるもの。

・すぐに実践で使えるようなテーマが良い。「現代における子どものこころ(考え方)と地域とのつながり」や「子どもと関わる時に気を付けた方がよいポイント」など。（東区）

その他（魅力発信）

○一般社団法人日本経営協会 講師 北野清晃 氏（別紙5参照）

参考

県で開発を検討の避難者支援システムの機能(案)について



令和6年度県・南魚沼市総合防災訓練における実証実験の内容について

市民が利用する機能

受付管理機能

避難所に入退所する方は、アプリで QR コードを表示するだけで手続き完了！

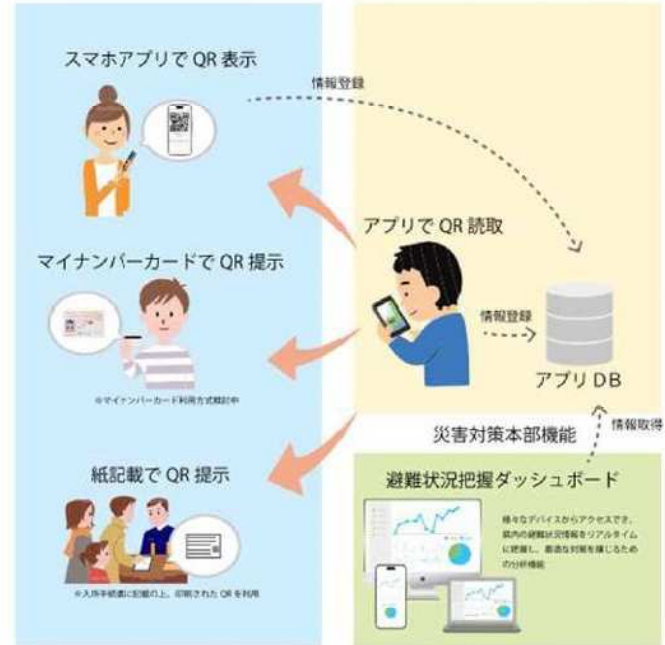
在宅や車中泊など避難所以外の場所に避難した方は、アプリで位置情報を登録

避難所の担当者は、アプリで避難者が提示した QR コードを読み込み、受付処理実施

避難所の担当者は、アプリで避難所の施設概要やライフラインの状況などを報告実施

市民が利用する機能

受付管理機能



【避難者支援システムを活用した避難所の受付の円滑化】 **New!**



避難者支援システムを活用した受付

【避難所鍵ボックス設置事例(新潟市)】

事業概要

- ・令和2年度から、地震発生時の指定避難所早期開設のため、避難所入口に鍵ボックスを設置し、発災時には、鍵ボックスの暗証番号を知る地域の開設協力住民が避難所の開錠を行う。
- ・また、津波災害警戒区域内及び近接する指定避難所等では、市が遠隔操作等で開錠できる鍵ボックスを設置し、より早期の避難所開設を行える体制を整備している。
- ・令和6年度中に、市内全避難所に鍵ボックス設置を予定している。



- 手動で解除する鍵ボックス暗証番号で開錠
※暗証番号は定期的に変更



※イメージ

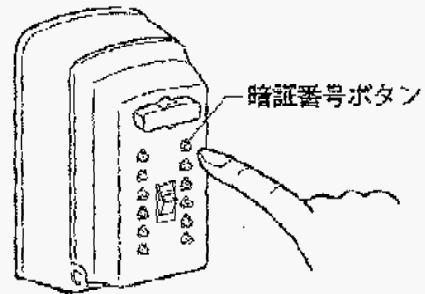
- 遠隔操作等で解除する鍵ボックス
地震発生時には遠隔操作等で開錠する。

(提供:新潟市)

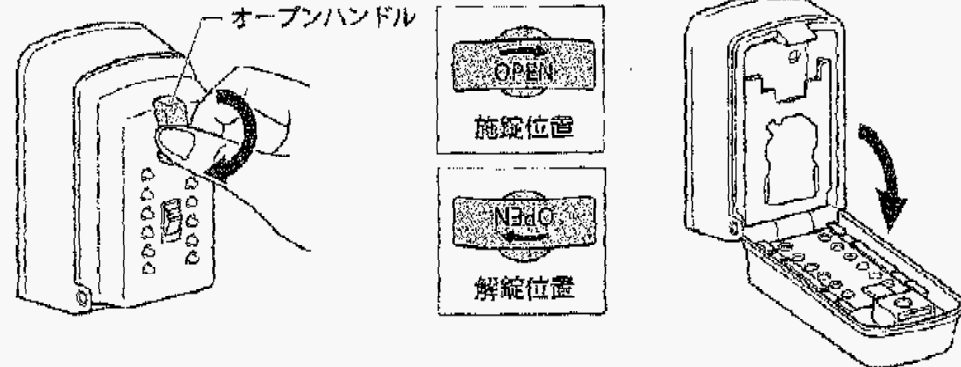
ご使用方法

1 フタを開ける

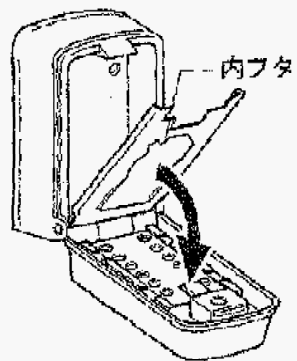
① 設定した暗証番号を押します。



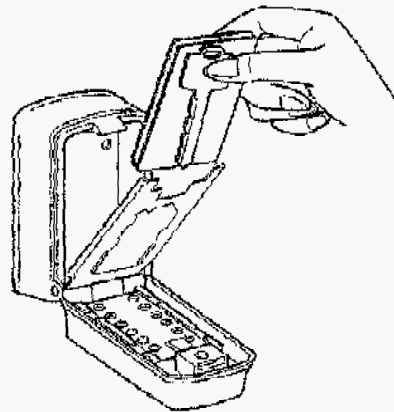
② オープンハンドルを矢印の方向に解錠位置まで回し(180度)、フタを開けます。



③ 内フタを開けます。

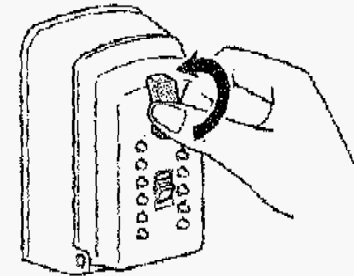


④ カギやカード等を収納します。



2 フタを閉める

フタを閉じ、オープンハンドルを下図の矢印の方向(反時計回り)に回します。



各都市の移動歯科診療車

宮崎県



千葉県



移動歯科診療車（ビバー号）

東京都



啓発ポスター（例）

避難生活でも、お口の清潔を保ちましょう！

慣れない避難生活では、そのストレスから抵抗力が弱まり、虫歯・牙周病の悪化や口内炎がおこりやすくなります。特に高齢の方では、口の中の汚れが原因で、誤嚥性（ごえんせい）肺炎にかかり易くなる恐れがあります。お口の中を清潔に保つことにより、これらの病気の予防に努めましょう。

- 夜寝る前には、できるだけ歯みがきをしましょう。
- 歯みがきが出来ない時は、ブクブクうがいをしましょう。うがい薬でのうがいが理想ですが、手元になければ、水道水をお口含んでブクブクうがいを15秒間行いましょう。3回繰り返すと有効です。
- 入れ歯のお手入れが必要です。食後には、歯ブラシで丁寧に、内面と歯の部分を磨きましょう。磨いた後で義歯洗浄剤につけると、より効果的でしょう。
- よく噛んで食べましょう。よく噛むと、唾液がたくさん出て、口の中の汚れを洗い流す効果があります。
- 子どもたちは、甘いものの食べ過ぎに気をつけましょう。食べた後、歯みがきやうがいを心がけましょう。



〇〇県歯科医師会

大切なお知らせ

[Vol.6]

重要

このお知らせを保存したり、見やすい場所に貼ったりするなどして、周りの方にもお伝えください。

！ 「支援制度」の申請漏れはありませんか？

申請期間が延長されたものもあります。詳しくは以下をご覧ください。

住宅関連の支援制度

※担当課への問い合わせは、祝・休日を除く
月～金曜午前8時半～午後5時半をお願いします

表の数値は支援の上限額です

<申請・相談窓口>

- 西 西区の被災相談窓口
- 区 そのほかの区
- ル 古町ルフルの窓口

り災証明書の
判定結果

	全壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半壊	準半壊	一部 損壊
【1】被災者生活再建支援金 西 区 お住まいの住宅に大きな被害を受けた世帯へ支援金を支給 申請期限 基礎支援金・市支援金：令和7年1月31日 《福祉総務課》 加算支援金：令和9年1月31日 ☎ 025-226-1169	400 万円	300 万円	150 万円	50 万円	—	—
住宅の再建方法などによって異なります。						
【2】被災者住宅応急修理 西 ル 日常生活に不可欠な部分の現状復旧 申請期限 ：令和6年12月31日 《公共建築課》 ☎ 025-226-2880	修理して居住可能となる場合は対象になる場合あり	170.6 万円	120.6 万円	120.6 万円	64.3 万円	—
【3】液状化等被害 住宅修繕支援 西 ル 宅地内のカーポートや物置を含む外構工事も対象 申請期限 ：令和7年2月28日 《公共建築課》 ☎ 025-226-2880	100 万円	100 万円	50 万円	50 万円	30 万円	10 万円
住宅の床の傾斜修繕やその付随工事をする場合、追加で支援します。(上限50万円)						
【4】液状化等被害 住宅建替・購入支援 西 ル 新潟市内で家の購入や建て替えをした場合に支援 申請期限 建替：令和6年9月30日 購入：令和7年2月28日 《建築保全課》 ☎ 025-226-2864	100 万円	100 万円	50 万円	—	—	—
その場で建て替えをする場合、住宅の沈下防止費用を追加で支援します。(上限50万円)						
【5】被災ブロック塀等撤去工事補助 西 ル 申請期限 ：令和6年12月27日 《建築行政課》 ☎ 025-226-2841	道路などに面した危険なブロック塀などの撤去工事費の3分の2を支援します。(上限20万円) り災証明書は不要 ※工事着手前に申請が必要です。					
【6】被災者転居費支援 （郵送でも受け付けできます） 西 ル 郵送先 951-8550 新潟市中央区古町通7番町1010 古町ルフル6階 住環境政策課 申請期限 ：令和6年12月27日 《住環境政策課》 ☎ 025-226-2821	○	○	○	○	—	—
引越し費用の2分の1を支援します。(上限15万円)						
【7】水道料金・下水道使用料の免除 西 区 申請期限 ：令和7年3月31日 《水道局コールセンター（水道料金）》 ☎ 0120-411-002 《下水道部経営企画課（下水道使用料）》 ☎ 025-226-2959	○	○	○	○	○	○
令和6年1月1日を含む期間（通常2カ月分）を全額免除します。※漏水による使用量増加に対する減免もあり。期限後も随時受付						
【8】被災した家屋等の解体・撤去 西 全額公費で解体・撤去 相談は9時から12時まで 申請期限 ：令和6年12月27日 《循環社会推進課》 ☎ 025-226-1391	○	○	○	○	—	—
申請には事前予約が必要 予約先 廃棄物対策課 ☎025-226-1411						
【9】災害援護資金貸付 申請先：福祉総務課（市役所本庁舎1階） 返済あり 所得制限あり 申請期限 ：令和7年1月31日 《福祉総務課》 ☎ 025-226-1169	○	○	○	○	—	—
家財に価額の3分の1以上の被害がある場合も申請可能						

被災相談・申請窓口

「り災証明書」の申請・発行は、以下の窓口で行います。

そのほか、各窓口で受け付ける支援制度の種類は表面をご覧ください。

		開設日	開設時間
被災相談窓口(西区)	西区役所健康センター棟 3階	毎日	午前9時～午後5時
住宅修繕・建替窓口(中央区)	古町ルフル 6階 ※「り災証明書」の申請・発行は行ないません。		
北・中央・江南・南・西蒲区	各区役所	祝・休日を除く、月～金曜	
東区	東区役所	祝・休日を除く、水・木曜	
秋葉区	秋葉区役所	祝・休日を除く、月・火曜	

※江南区では、住宅の修繕・建替の臨時窓口を開設しています。詳細は江南区役所地域総務課（☎025-382-4526）へお問い合わせください。

自宅の修理についての相談

ご自宅を建てた工務店や大工さんにご相談ください。
相談先がない場合は、新潟市建築組合連合会までご連絡ください。

相談受付内容

- ・大工など専門家の派遣・現地確認・相談対応
- ・支援制度の紹介

《新潟市建築組合連合会》

☎070-6510-0353

【受付時間】

平日 10:00～17:00

義援金の配分について

対象者

住家被害でり災証明書（居住者）の交付を受けた世帯 ※人的被害（死亡者、重傷者）については、お問い合わせください。

配分内容

被害区分に基づき配分（2万円～104万円）

手続きについて

対象となる世帯には、順次義援金配分の案内の封書をお送りします。

問い合わせ

税制課 ☎025-226-1502

市民税課 ☎025-226-2243、2253

医療費、介護保険利用料の支払いが免除されます

対象者

令和6年能登半島地震で被災し、下記①②のいずれかに該当する人

①り災証明書が以下の判定の人

- ・後期高齢者医療・・・「半壊」以上
- ・国民健康保険、介護保険・・・「準半壊」以上

②主な生計維持者が業務を廃止・休止した、または失職し、現在収入がない人

問い合わせ

後期高齢者医療・・・保険年金課 ☎025-226-1081

国民健康保険・・・保険年金課 ☎025-226-1077

介護保険・・・介護保険課 ☎025-226-1273

免除を受けるには

医療機関や介護サービス事業所などに対象者であることを申告してください。

対象医療費・利用料

令和6年1月1日～令和6年9月30日に受診した診療、調剤、訪問看護の医療費、介護保険利用料

すでに支払った医療費

申請により還付を受けることができます。

【還付申請期限】令和6年10月31日

※国民健康保険は上記期限を過ぎても申請できますのでご相談ください。

検討中の支援制度

液状化被災宅地等復旧支援事業（個人負担あり）

地震による液状化で被害を受けた宅地の復旧や地盤改良などの工事に対して、補助率3分の2により最大766万6千円を助成できるよう検討しています。※詳細が決まり次第、市ホームページや市報にいがた等でお知らせします。

その他のお問い合わせは、新潟市役所コールセンターへ ☎025-243-4894 【受付時間】午前8時～午後9時



企画・情報 / 1日研修

New

〇〇の魅力発信力向上研修

一般社団法人 日本経営協会 講師 北野 清晃(きたの きよてる)

マーケティングの基礎を踏まえた“魅力発信アイデア”の創出

- 本研修の概要とねらい
 - ①マーケティングの基礎知識について学ぶ。
 - ②デザイン思考を活用したアイデア発想法を学ぶ。
 - ③地域の魅力を効果的に発信する方法について考える。

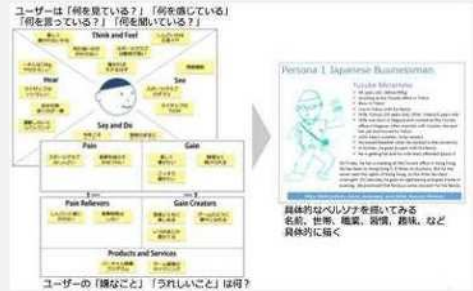
- 主なコンテンツ

マーケティングを学ぼう(基礎編・発展編)、〇〇の魅力発信！アイデアワークショップ など(詳細の例は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

- 演習/実習の内容
 - ・顧客インサイト分析
 - ・ペルソナ設計
 - ・カスタマージャーニーマップ など

→ユーザーになったつもりで楽しみながら分析ワークとアイデア開発をチームで行います。

- 受講対象(推奨)
 - 中堅職員
 - 企画業務を担当する職員



〇〇の魅力発信力向上研修

1日研修タイムテーブル案

1. はじめに

- (1)学習目標・進め方 (2)アイスブレイク

2. マーケティングを学ぼう！《基礎編》

- (1)伝統的マーケティングの全体像
- (2)セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング
- (3)マーケティングミックス(4P)
製品戦略、価格戦略、チャネル戦略、プロモーション戦略
- (4)プロモーション戦略
プロモーションミックス、認知モデル、広告、口コミ

3. マーケティングを学ぼう！《発展編》

- (1)伝統的マーケティングの限界と新潮流
- (2)ブランドとブランディング
ブランドの定義、機能、エクイティ、要素、種類、戦略
- (3)関係性マーケティング
- (4)サービス(体験)マーケティング
サービスドミナントロジック、サービス特性、体験価値

4. 〇〇の魅力発信！アイデアワークショップ

- (1)デザイン思考
- (2)顧客視点でサービス(体験)をデザインしよう
顧客インサイト分析、ペルソナ設計、カスタマージャーニーマップ
- (3)アイディエーション
- (4)共有・フィードバック

5. まとめ

■本研修担当営業のワンポイント・メッセージ

前半はマーケティングの基礎編と発展編のインプット中心です。クイズや問いかけなどしながらレクチャーします。後半はデザイン思考の、特に顧客体験を分析するワークを中心に、そこから新たな魅力発信アイデアにつなげる内容です。こちらはワークショップ形式で楽しみながら体感いただきます。



講師：北野 清晃

大学院を修了後、都市計画コンサルティング会社に入社。自治体の計画策定業務やまちづくりワークショップの企画運営に携わる。その後、人材育成を支援する公益法人に入職。企業や自治体の研修やセミナー、シンポジウム、委員会等の企画業務に8年間従事する。同社退職後、実家の中小企業支援に取り組むとともに、京都大学大学院にて、経営学やエスノグラフィー等の観察手法を学ぶ。

現在は、組織デザイン、サービスデザインの研究活動に取り組むとともに、企業や自治体にて研修／ワークショップの企画、講師／ファシリテーターとして活躍している。

博士(総合学術)、専門修士(経営学)・修士(工学)、中小企業診断士、一級建築士、一級販売士、ビジネスコーチ、キャリアコンサルタント

著書に『組織論から考えるワークショップデザイン』などがある。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>

(1) 来庁者駐車場案内

本庁舎周辺図 (市 HP 掲載)



※車でお越しの方へ
減免処理をするため、駐車券を必ずお持ちください